

陳情書

論田自治会

平成 29 年 10 月 30 日

平成 29 年 10 月 30 日

氷見市長
林 正之 様

論田自治会
会長 坂下 穰



平成 29 年度追加要望に関する陳情書

日頃より当地区に格別の御高配を賜り、地区民一同心より感謝申し上げます。

中山間地の県境に位置する当地区は、過疎化の波に晒されながらも地区民が一丸となって地域の活性化に努力しておりますが、地区内の市道幹支線の拡幅・改良、農業生産基盤の老朽化、鳥獣被害、生活環境等多岐にわたり、一日も早いその対策と解消を待ち望んでおります。

どうか、下記の論田地区の懸案事項につきまして、御高配を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

記

1. 市道論田瀬戸線の拡幅改良（別紙位置図・写真参照）H29-068-001

市道論田瀬戸線の内、旧■■■■宅前から旧■■■■宅前までの、L=92m の区間は道路幅員 W=2.30m~2.50m と狭小であり、併せて側溝は BF600 の開水路であるため冬期間には、積雪時や凍結時に脱輪する事故が発生している。

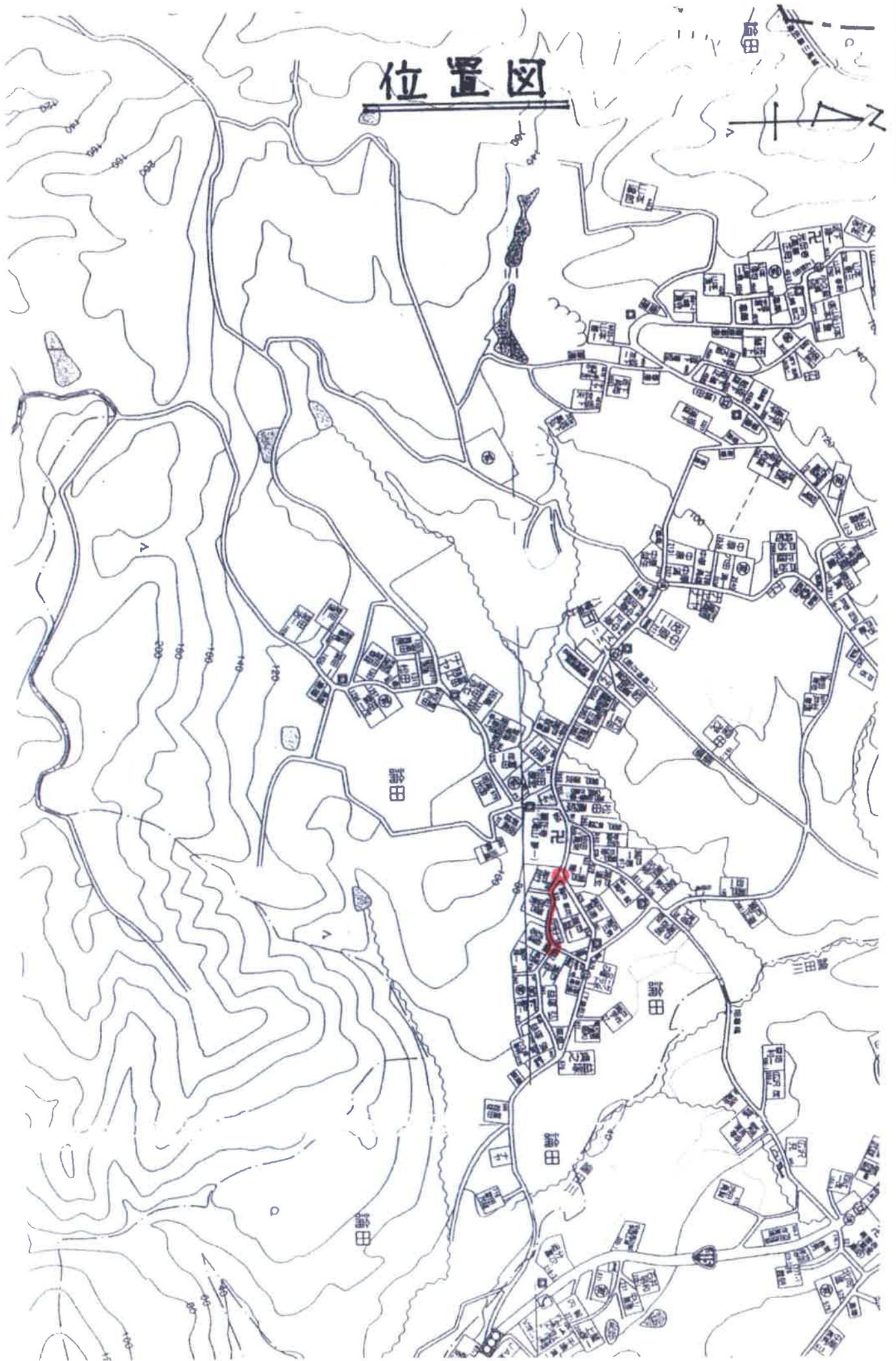
また側溝は、老朽化による目地の欠落によって、漏水・路床の吸出しにより水路の傾き・路面の不陸整正（陥没）が発生している。

車両の通行においては、現状では小型車両（軽自動車及び小型普通乗用車）のみで緊急車両の通行は困難であり、また冬季除雪は人力や家庭用除雪機で行っている。

以上の状況を鑑み、なにとぞ道路幅員の確保を図るべく、その対策を講じていただきたく要望するものであります。

以上

位置図



1. 道路状況 (W=2.30m~2.50m)

始点より中間点方向



中間点より始点方向



終点より中間点方向



2. 路面状況

陥没部



陥没部クローズアップ



ヒビワレ



3. 側溝(排水路BF600)状況

カタガリ ($\Delta h=0.08m$)



目地欠損



目地欠損
舗装被り(5cm~20cm)

